

学校コード F133310109607

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

届出

注2

川崎医療福祉大学大学院 医療技術学研究科 医療技術学専攻（博士後期課程）

**【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正後大学設置基準適用）**

学校法人川崎学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部 教務課

職名・氏名 カチユウ カワニシ アヤミ
課長 川西 礼美

電話番号 086-464-1021（内線：54225）

（夜間） 086-464-1021（内線：54225）

e-mail kyomuka@mw.kawasaki-m.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医療技術学研究科

＜医療技術学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 川崎学園

(2) 大学名

川崎医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒701-0193
岡山県倉敷市松島288番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カワサキ セイジ) 川崎 誠治 (平成24年3月)		
学長	(ツバハラ アキオ) 椿原 彰夫 (平成25年1月)		
研究科長	(ミヤカワ タケシ) 宮川 健 (平成31年4月)	(モチヅキ セイイチ) 望月 精一 (令和5年4月)	人事異動のため 令和5年4月1日 (4)
専攻主任	(モチヅキ セイイチ) 望月 精一 (令和3年4月)	(トオヤマ カオル) 通山 薫 (令和5年4月)	人事異動のため 令和5年4月1日 (4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療技術学研究所 医療技術学専攻 （博士後期課程） 博士（医療技術学）	医療衛生学関係（看護学 関係及びリハビリテー ション関係を除く。）	3 年	2 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	6 人		医療技術学研究所臨床工学専攻（博士後期課程）

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	2	—	0.16倍	一倍	0.16倍	一倍	
志願者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1	(—)	0	(—)	1	(—)					
受験者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1	(—)	0	(—)	1	(—)					
合格者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1	(—)	0	(—)	1	(—)					
B 入学者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1	(—)	0	(—)	0	(—)					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	—	0.00	—	0.00	—					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、() 書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	0人	0人	平成30年度	0人	0人	
令和元年度	0人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	0人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	1人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	1人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
令和5年度	1人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医療技術学研究所 医療技術学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療技術学基礎研究	医療技術学特殊講義	1前	2			3	1				2
	英語論文特殊講義	1前		2			2				1
	英語プレゼンテーション特殊講義	1後		2			2				
	先端医学研究特殊講義	1通		2							1
臨床工学研究	臨床工学特殊講義	1前		2		1	1				
	先進医療学特殊講義	1前		2		1	1				
	先端医療機器学特殊講義	1前		2		1	2				
	医療安全学特殊講義	1後		2		1	1				
	生体情報システム工学特殊講義	1後		2		1	1	2			
	生体機能解析学特殊講義	1後		2		1	2				
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特殊講義	1前		2		2		1			
	臨床化学分析学特殊講義	1後		2		3		1			
	臨床検査情報解析学特殊講義	1前		2		2		1			
	分子病態解析学特殊講義	1後		2		1		1			1
	組織・細胞解析学特殊講義	1前		2		2	1				
	感染防御学特殊講義	1前		2		2					
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特殊講義	1前		2			2				
	放射線計測管理学特殊講義	1前		2			2				
	放射線画像検査技術学特殊講義	1前		2		3					
	医用画像検査技術学特殊講義	1後		2		2					
	放射線治療技術学特殊講義	1後		2			1				1
医療技術学特殊研究	1前～3後	12			13						2
合計(22科目)	-		14	40	0	13	10	6	0	0	2

終了要件及び履修方法

<p>■臨床工学研究コース</p> <p>[修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、臨床工学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>[履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p> <p>■臨床検査学研究コース</p> <p>[修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、臨床検査学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>[履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p> <p>■診療放射線技術学研究コース</p> <p>[修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、診療放射線技術学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>[履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p>

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療技術学基礎研究	医療技術学特殊講義	1前	2			4	1				1
	英語論文特殊講義	1前		2		3					
	英語プレゼンテーション特殊講義	1後		2		2	1				
	先端医学研究特殊講義	1通		2		1					
臨床工学研究	臨床工学特殊講義	1前		2		1	1				
	先進医療学特殊講義	1前		2		1	1				
	先端医療機器学特殊講義	1前		2		2	1				
	医療安全学特殊講義	1後		2			1				1
	生体情報システム工学特殊講義	1後		2		1		2			1
	生体機能解析学特殊講義	1後		2			3				
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特殊講義	1前		2		2	1				
	臨床化学分析学特殊講義	1後		2		2		1			
	臨床検査情報解析学特殊講義	1前		2		2		1			
	分子病態解析学特殊講義	1後		2		2		1			
	組織・細胞解析学特殊講義	1前		2		2	1				
	感染防御学特殊講義	1前		2		2					
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特殊講義	1前		2		1	1				
	放射線計測管理学特殊講義	1前		2			2				
	放射線画像検査技術学特殊講義	1前		2		2		1			
	医用画像検査技術学特殊講義	1後		2		1		1			
	放射線治療技術学特殊講義	1後		2		1	1				
医療技術学特殊研究	1前～3後	12			14						1
合計(22科目)	-		14	40	0	15	9	3	0	0	1

終了要件及び履修方法

<p>■臨床工学研究コース</p> <p>[修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、臨床工学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>[履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p> <p>■臨床検査学研究コース</p> <p>[修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、臨床検査学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>[履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p> <p>■診療放射線技術学研究コース</p> <p>[修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、診療放射線技術学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>[履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p>

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医療技術学基礎研究	医療技術学特殊講義	1前	2			3	1					2
	英語論文特殊講義	1前		2		2						1
	英語プレゼンテーション特殊講義	1後		2		2	1					
	先端医学研究特殊講義	1通		2								1
臨床工学研究	臨床工学特殊講義	1前		2		1	1					
	先進医療学特殊講義	1前		2		1	1					
	先端医療機器学特殊講義	1前		2		2	1					
	医療安全学特殊講義	1後		2			1					1
	生体情報システム工学特殊講義	1後		2			2					1
	生体機能解析学特殊講義	1後		2		2	1					
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特殊講義	1前		2		2	1					
	臨床化学分析学特殊講義	1後		2		2		1				
	臨床検査情報解析学特殊講義	1前		2		2		1				
	分子病態解析学特殊講義	1後		2		1		1				1
	組織・細胞解析学特殊講義	1前		2		2	1					
	感染防御学特殊講義	1前		2		2						
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特殊講義	1前		2		1	1					
	放射線計測管理学特殊講義	1前		2			2					
	放射線画像検査技術学特殊講義	1前		2		2		1				
	医用画像検査技術学特殊講義	1後		2		1		1				
	放射線治療技術学特殊講義	1後		2		1	1					
医療技術学特殊研究	1前～3後	12			13						2	
合計(22科目)	-	14	40	0	13	11	3	0	0	0	2	

終了要件及び履修方法

<p>■臨床工学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、臨床工学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p> <p>■臨床検査学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、臨床検査学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p> <p>■診療放射線技術学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、診療放射線技術学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p>

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医療技術学基礎研究	医療技術学特殊講義	1前	2			3	1					2
	英語論文特殊講義	1前		2		2						1
	英語プレゼンテーション特殊講義	1後		2		2	1					
	先端医学研究特殊講義	1通		2								1
臨床工学研究	臨床工学特殊講義	1前		2		1	1					
	先進医療学特殊講義	1前		2		1	1					
	先端医療機器学特殊講義	1前		2		2	1					
	医療安全学特殊講義	1後		2			1					1
	生体情報システム工学特殊講義	1後		2			2		1			1
	生体機能解析学特殊講義	1後		2		2	1					
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特殊講義	1前		2		2	1					
	臨床化学分析学特殊講義	1後		2		2		1				
	臨床検査情報解析学特殊講義	1前		2		2		1				
	分子病態解析学特殊講義	1後		2		1		1				1
	組織・細胞解析学特殊講義	1前		2		2	1					
	感染防御学特殊講義	1前		2		2						
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特殊講義	1前		2		1	1					
	放射線計測管理学特殊講義	1前		2			2					
	放射線画像検査技術学特殊講義	1前		2		2		1				
	医用画像検査技術学特殊講義	1後		2		1		1				
	放射線治療技術学特殊講義	1後		2		1	1					
医療技術学特殊研究	1前～3後	12			14		10	4	0	0	2	
合計(22科目)	-	14	40	0	15	10	4	0	0	0	2	

終了要件及び履修方法

<p>■臨床工学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、臨床工学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p> <p>■臨床検査学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、臨床検査学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p> <p>■診療放射線技術学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より2単位以上(必修2単位)、診療放射線技術学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。**その上で、各年度については、**「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字**としてください。
 - ・ (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・教育内容拡充のため、「英語プレゼンテーション特殊講義」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・教員変更のため、「先端医療機器学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授1・准教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・教員変更のため、「医療安全学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「准教授1・兼1」に変更。
- ・教員変更のため、「生体情報システム工学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師2」から「准教授2・講師1・兼1」に変更。
- ・教員変更のため、「生体機能解析学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授1・准教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・教員変更のため、「高次生理機能解析学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授2・講師1」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・教員変更のため、「画像情報理工学特殊講義」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・教員変更のため、「放射線治療技術学特殊講義」の専任教員等の配置を「講師1・兼1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・昇任のため、「医療技術学特殊研究」の専任教員等の配置を「教授13・兼2」から「教授14・兼2」に変更。

【令和4年度】

- ・教員変更のため、「生体情報システム工学特殊講義」の専任教員等の配置を「准教授2・講師1・兼1」から「准教授2・兼1」に変更。
- ・教員変更のため、「臨床化学分析学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授3・講師1」から「教授2・講師1」に変更。
- ・教員変更のため、「放射線画像検査技術学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2・講師1」に変更。
- ・教員変更のため、「医用画像検査技術学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1・講師1」に変更。
- ・教員変更のため、「放射線治療技術学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・准教授1」に変更。

【令和5年度】

- ・昇任のため、「医療技術学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・兼2」から「教授4・准教授1・兼1」に変更。
- ・昇任のため、「英語論文特殊講義」の専任教員等の配置を「教授2・兼1」から「教授3」に変更。
- ・昇任のため、「先端医学研究特殊講義」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・退職及び昇任のため、「生体情報システム工学特殊講義」の専任教員等の配置を「准教授2・兼1」から「教授1・兼1」に変更。
- ・昇任のため、「生体機能解析学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授3」に変更。
- ・昇任のため、「分子病態解析学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・兼1」から「教授2・講師1」に変更。
- ・昇任のため、「医療技術学特殊研究」の専任教員等の配置を「教授13・兼2」から「教授14・兼1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	20 科目	0 科目	22 科目	2 科目 [0]	20 科目 [0]	0 科目 [0]	22 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	66,357.00㎡	0㎡	0㎡	66,357.00㎡				
	そ の 他	66,139.28㎡	0㎡	0㎡	66,139.28㎡				
	合 計	132,496.28㎡	0㎡	0㎡	132,496.28㎡				
(2) 校舎	専 用	79,854.22㎡	0㎡	0㎡	79,854.22㎡				
	(79,854.22㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(79,854.22㎡)				
(3) 講義室等・新設研究科等の専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室	教室等の使用用途を一部変更したため(2)(3) 教員構成変更のため(4) 専任教員の研究室の割り当てを変更したため(5) 大学全体			
		50室	131室 +30室	49室 45室	24室 24-5室				
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機 械 ・ 器 具	標 本		
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
		冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点	点		
	医療技術学研究科 医療技術学専攻 (博士後期課程)	8,000 [700] (10,383[798]) -(9,918 [786]) -(9,439 [777])	22 [0] (22 [0])	65 [25] (66 [28]) -(68 [30]) -(71 [31])	900 [895] (996 [987]) -(932 [923]) -(942 [935])	4,211 (4,072) -(4,098) -(4,112)	104 (83) -(104)		
計	8,000 [700] (10,383[798]) -(9,918 [786]) -(9,439 [777])	22 [0] (22 [0])	65 [25] (66 [28]) -(68 [30]) -(71 [31])	900 [895] (996 [987]) -(932 [923]) -(942 [935])	4,211 (4,072) -(4,098) -(4,112)	104 (83) -(104)			
(5) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究科単位での算出不能なため、学部との合計
		教員1人当り研究費等	658千円 632千円	713千円 716千円 632千円	図書購入費	100千円	100千円	100千円	
	共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	1,000千円	500千円	500千円	合同研究費は大学全体	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	教員構成変更のため(4) 教員構成変更のため(5)	
		900千円	700千円	700千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、証明書発行手数料収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	5	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	3	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	5	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
医療福祉学部	4	296	3年次17	1218	-	0.67	-	0.65	-	-	平成3	-						
医療福祉学科	4	136	3年次10	564	学士(医療福祉学)	0.45	-	0.46	-	-	平成3	岡山県倉敷市鞆島288番地						
臨床心理学科	4	80	3年次5	330	学士(臨床心理学)	0.96	-	0.92	-	-	平成3	同上						
子ども医療福祉学科	4	80	3年次2	324	学士(子ども医療福祉学)	0.73	-	0.71	-	-	平成29	同上						
保健看護学部	4	120	-	480	-	1.09	-	1.07	1.06	-	平成31	-						
保健看護学科	4	120	-	480	学士(保健看護学)	1.09	-	1.07	1.06	-	平成31	岡山県倉敷市鞆島288番地						
リハビリテーション学部	4	220	-	880	-	1.07	-	1.05	1.03	-	平成31	-						
理学療法学科	4	60	-	240	学士(理学療法学)	1.17	-	1.15	1.14	-	平成31	岡山県倉敷市鞆島288番地						
作業療法学科	4	60	-	240	学士(作業療法学)	1.13	-	1.08	1.06	-	平成31	同上						
言語聴覚療法学科	4	60	-	240	学士(言語聴覚療法学)	0.96	-	0.97	-	-	平成31	同上						
視能療法学科	4	40	-	160	学士(視能療法学)	0.97	-	0.96	-	-	平成31	同上						
医療技術学部	4	330	3年次6	1332	-	0.98	-	0.96	-	-	平成3	-						
臨床検査学科	4	60	-	240	学士(臨床検査学)	1.15	-	1.15	1.14	-	平成29	岡山県倉敷市鞆島288番地						
診療放射線技術学科	4	60	-	240	学士(診療放射線技術学)	1.23	-	1.19	1.12	-	平成29	同上						
臨床工学科	4	80	-	320	学士(臨床工学)	0.87	-	0.86	-	-	平成19	同上						
臨床栄養学科	4	50	3年次3	206	学士(臨床栄養学)	0.79	-	0.77	-	-	平成3	同上						
健康体育学科	4	80	3年次3	326	学士(健康体育学)	0.89	-	0.89	-	-	平成3	同上						
感覚矯正学科	4	-	-	-	学士(感覚矯正学)	-	-	-	-	-	平成3	同上	平成31年度入学生より学生募集停止					
言語聴覚専攻	4	-	-	-	学士(感覚矯正学)	-	-	-	-	-	平成3	同上	平成31年度入学生より学生募集停止					
リハビリテーション学科	4	-	-	-	学士(リハビリテーション学)	-	-	-	-	-	平成7	同上	平成31年度入学生より学生募集停止					
理学療法専攻	4	-	-	-	学士(リハビリテーション学)	-	-	-	-	-	平成7	同上	平成31年度入学生より学生募集停止					
作業療法専攻	4	-	-	-	学士(リハビリテーション学)	-	-	-	-	-	平成7	同上	平成31年度入学生より学生募集停止					
医療福祉マシナリ学部	4	220	3年次9	898	-	0.40	-	0.41	-	-	平成17	-						
医療福祉経営学科	4	60	3年次2	244	学士(医療福祉経営学)	0.32	-	0.35	-	-	平成17	岡山県倉敷市鞆島288番地						
医療情報学科	4	60	3年次3	246	学士(医療情報学)	0.43	-	0.44	-	-	平成17	同上						
医療秘書学科	4	60	3年次2	244	学士(医療秘書学)	0.46	-	0.45	-	-	平成17	同上						
医療福祉デザイン学科	4	40	3年次2	164	学士(医療福祉デザイン学)	0.41	-	0.39	-	-	平成17	同上						
大学全体	4	1186	3年次32	4808	-	-	-	-	-	-	-	-						

(注)・本調査の対象となっている大学短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。

なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。

5 教育研究実施組織の状況

<医療技術学研究科 医療技術学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】		【令和3年度】		【令和4年度】		【令和5年度】	
氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名
伊禮 功 (55) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	伊禮 功 (55) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	伊禮 功 (56) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	伊禮 功 (57) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
小野(木村) 教 (59) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 英語プレゼンテーション特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	小野(木村) 教 (59) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 英語プレゼンテーション特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	小野(木村) 教 (60) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 英語プレゼンテーション特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	小野(木村) 教 (61) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 英語プレゼンテーション特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究
片岡 浩巳 (61) <令和3年4月> 博士(理学)	専任 教授 臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	片岡 浩巳 (61) <令和3年4月> 博士(理学)	専任 教授 臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	片岡 浩巳 (62) <令和3年4月> 博士(理学)	専任 教授 臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	片岡 浩巳 (63) <令和3年4月> 博士(理学)	専任 教授 臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
茅野 功 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	専任 教授 医療技術学特殊講義 医療安全学特殊講義 生体情報システム工学特殊講義 医療技術学特殊研究	茅野 功 (44) <令和4年4月> 博士(工学)	専任 教授 医療技術学特殊講義 医療安全学特殊講義 生体情報システム工学特殊講義 医療技術学特殊研究	茅野 功 (45) <令和3年4月> 博士(工学)	兼担 教授 医療技術学特殊講義 医療安全学特殊講義 生体情報システム工学特殊講義 医療技術学特殊研究	茅野 功 (46) <令和3年4月> 博士(工学)	兼担 教授 医療技術学特殊講義 医療安全学特殊講義 生体情報システム工学特殊講義 医療技術学特殊研究
北中 明 (56) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 高次生理機能解析学特殊講義 分子病態解析学特殊講義 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究	北中 明 (56) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 高次生理機能解析学特殊講義 分子病態解析学特殊講義 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究	北中 明 (57) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 高次生理機能解析学特殊講義 分子病態解析学特殊講義 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究	北中 明 (58) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 高次生理機能解析学特殊講義 分子病態解析学特殊講義 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究
清藤 恵美 (56) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 医療技術学特殊講義 高次生理機能解析学特殊講義 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	清藤 恵美 (56) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 医療技術学特殊講義 高次生理機能解析学特殊講義 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	清藤 恵美 (57) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 医療技術学特殊講義 高次生理機能解析学特殊講義 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	清藤 恵美 (58) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 医療技術学特殊講義 高次生理機能解析学特殊講義 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
陶山 洋二 (58) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	陶山 洋二 (58) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	陶山 洋二 (59) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	陶山 洋二 (60) <令和3年4月> 博士(医学)	専任 教授 臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
田淵 昭彦 (55) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	田淵 昭彦 (55) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究				
近末 久美子 (56) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究	近末 久美子 (56) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究	近末 久美子 (57) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究	近末 久美子 (58) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究
永瀬 澄香 (64) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 臨床化学分析学特殊講義 医療技術学特殊研究	永瀬 澄香 (64) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 臨床化学分析学特殊講義 医療技術学特殊研究				
三村 浩朗 (61) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 英語論文特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	三村 浩朗 (61) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 英語論文特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	三村 浩朗 (62) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 英語論文特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	三村 浩朗 (63) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任 教授 英語論文特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究
望月 耕一 (59) <令和3年4月> Ph.D. in Chemical Engineering (米国)	専任 教授 医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 英語プレゼンテーション特殊講義 先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	望月 耕一 (59) <令和3年4月> Ph.D. in Chemical Engineering (米国)	専任 教授 医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 英語プレゼンテーション特殊講義 先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	望月 耕一 (60) <令和3年4月> Ph.D. in Chemical Engineering (米国)	専任 教授 医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 英語プレゼンテーション特殊講義 先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	望月 耕一 (61) <令和3年4月> Ph.D. in Chemical Engineering (米国)	専任 教授 医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 英語プレゼンテーション特殊講義 先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 医療技術学特殊研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	矢田 豊隆 (65) <令和3年4月> 医学博士	臨床工学特殊講義 先進医療学特殊講義 医療技術学特殊研究	専任	教授	矢田 豊隆 (65) <令和3年4月> 医学博士	臨床工学特殊講義 先進医療学特殊講義 医療技術学特殊研究	専任	教授	矢田 豊隆 (67) <令和3年4月> 医学博士	臨床工学特殊講義 先進医療学特殊講義 医療技術学特殊研究
専任	准教授	有安 早苗 (57) <令和3年4月> 博士(保健学)	組織・細胞解析学特殊講義	専任	准教授	有安 早苗 (57) <令和3年4月> 博士(保健学)	組織・細胞解析学特殊講義	専任	准教授	有安 早苗 (59) <令和3年4月> 博士(保健学)	組織・細胞解析学特殊講義
専任	准教授	小川 武人 (42) <令和3年4月> 博士(工学)	臨床工学特殊講義	専任	准教授	小川 武人 (42) <令和3年4月> 博士(工学)	臨床工学特殊講義	専任	准教授	小川 武人 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	臨床工学特殊講義
専任	准教授	五反田 龍宏 (40) <令和3年4月> 博士(保健学)	医療技術学特殊講義 放射線計測管理学特殊講義	専任	准教授	五反田 龍宏 (40) <令和3年4月> 博士(保健学)	医療技術学特殊講義 放射線計測管理学特殊講義	専任	准教授	五反田 龍宏 (42) <令和3年4月> 博士(保健学)	医療技術学特殊講義 放射線計測管理学特殊講義
専任	准教授	竹井 泰孝 (54) <令和3年4月> 博士(保健学)	放射線計測管理学特殊講義	専任	准教授	竹井 泰孝 (55) <令和3年4月> 博士(保健学)	放射線計測管理学特殊講義	専任	准教授	竹井 泰孝 (56) <令和3年4月> 博士(保健学)	放射線計測管理学特殊講義
専任	准教授	立花 博之 (52) <令和3年4月> 博士(情報工学)	先端医療機器学特殊講義 医療安全学特殊講義	専任	准教授	立花 博之 (52) <令和3年4月> 博士(情報工学)	先端医療機器学特殊講義 医療安全学特殊講義	専任	准教授	立花 博之 (54) <令和3年4月> 博士(情報工学)	先端医療機器学特殊講義 医療安全学特殊講義
専任	准教授	谷野 雅昭 (49) <令和3年4月> 博士(医学)	先進医療学特殊講義	専任	准教授	谷野 雅昭 (49) <令和3年4月> 博士(医学)	先進医療学特殊講義	専任	准教授	谷野 雅昭 (51) <令和3年4月> 博士(医学)	先進医療学特殊講義
専任	准教授	福見 敦 (48) <令和3年4月> 博士(理学)	画像情報工学特殊講義	専任	准教授	福見 敦 (48) <令和3年4月> 博士(理学)	画像情報工学特殊講義	専任	准教授	福見 敦 (50) <令和3年4月> 博士(理学)	画像情報工学特殊講義
専任	准教授	逸見 知弘 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	生体情報システム工学特殊講義 生体機能解析学特殊講義	専任	准教授	逸見 知弘 (45) <令和3年4月> 博士(工学)	生体情報システム工学特殊講義 生体機能解析学特殊講義	専任	教授	逸見 知弘 (47) <令和3年4月> 博士(工学)	生体情報システム工学特殊講義 生体機能解析学特殊講義
専任	准教授	矢納 陽 (47) <令和3年4月> 博士(工学)	画像情報工学特殊講義	専任	教授	矢納 陽 (48) <令和3年4月> 博士(工学)	画像情報工学特殊講義	専任	教授	矢納 陽 (50) <令和3年4月> 博士(工学)	画像情報工学特殊講義 医療技術学特殊研究
専任	准教授	山本 健一郎 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義	専任	教授	山本 健一郎 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	専任	教授	山本 健一郎 (46) <令和3年4月> 博士(工学)	先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専任	講師	上野 浩司 (38) <令和3年4月> 博士(保健学)	高次生理機能解析学特殊講義	専任	准教授	上野 浩司 (38) <令和3年4月> 博士(保健学)	高次生理機能解析学特殊講義 英語プレゼンテーション特殊講義	専任	准教授	上野 浩司 (40) <令和3年4月> 博士(保健学)	高次生理機能解析学特殊講義 英語プレゼンテーション特殊講義
						成廣 直正 (60) <令和3年4月> 博士(保健学)	放射線治療技術学特殊講義	専任	准教授	成廣 直正 (61) <令和3年4月> 博士(保健学)	放射線治療技術学特殊講義
専任	講師	近藤 真史 (35) <令和3年4月> 博士(工学)	生体情報システム工学特殊講義	専任	講師	近藤 真史 (35) <令和3年4月> 博士(工学)	生体情報システム工学特殊講義				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	榊原 佳奈枝 (39) <令和3年4月> 博士(保健学)	分子病態解析学特殊講義	専任	講師	榊原 佳奈枝 (39) <令和3年4月> 博士(保健学)	分子病態解析学特殊講義	専任	講師	榊原 佳奈枝 (41) <令和3年4月> 博士(保健学)	分子病態解析学特殊講義
専任	講師	中原 貴子 (46) <令和3年4月> 博士(保健学)	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義	専任	講師	中原 貴子 (46) <令和3年4月> 博士(保健学)	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義	専任	講師	中原 貴子 (48) <令和3年4月> 博士(保健学)	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義
専任	講師	宮崎 仁 (39) <令和3年4月> 博士(工学)	生体情報システム工学特殊講義	専任	准教授	宮崎 仁 (39) <令和3年4月> 博士(工学)	生体情報システム工学特殊講義	専任	准教授	宮崎 仁 (40) <令和3年4月> 博士(工学)	生体情報システム工学特殊講義
専任	講師	山田 誠一 (56) <令和3年4月> 博士(保健学)	放射線治療技術学特殊講義	専任	講師	山田 誠一 (56) <令和3年4月> 博士(保健学)	放射線治療技術学特殊講義				
								専任	講師	舩田 隆剛 (60) <令和3年4月> 博士(医学)	放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義
兼任	教授	通山 薫 (63) <令和3年4月> 医学博士	医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 先端医学研究特殊講義 分子病態解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	兼任	教授	通山 薫 (63) <令和3年4月> 医学博士	医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 先端医学研究特殊講義 分子病態解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	兼任	教授	通山 薫 (64) <令和3年4月> 医学博士	医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 先端医学研究特殊講義 分子病態解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
兼任	教授	平塚 純一 (66) <令和3年4月> 医学博士	医療技術学特殊講義 放射線治療技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	兼任	教授	平塚 純一 (66) <令和3年4月> 医学博士	医療技術学特殊講義 放射線治療技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	専任	教授	平塚 純一 (67) <令和3年4月> 医学博士	医療技術学特殊講義 放射線治療技術学特殊講義 医療技術学特殊研究

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)を

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

特になし。

【令和4年度】

・田淵昭彦教授、永瀬澄香教授、近藤真史講師、山田誠一講師が辞任。後任として、成廣直正准教授、舛田隆則講師が就任。

【令和5年度】

・宮崎仁准教授が辞任。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません**。
なお、改正前大学設置基準に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めていた事由が発生する場合は、AC教員審査を受審する必要があります。）
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要 研究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要 研究指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
13	10	6	0	29	0	15	9	3	0	27	0
(13)	(10)	(6)	(0)	(29)	(0)						
研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
13	13	16	0			15	15	12	0		
(13)	(13)	(16)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
15	9	3	0	27	0	15	9	3	0	27	0
[2]	[Δ1]	[Δ3]	[0]	[Δ2]	[0]	[2]	[Δ1]	[Δ3]	[0]	[Δ2]	[0]
研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
15	15	12	0			15	15	12	0		
[2]	[2]	[Δ4]	[0]			[2]	[2]	[Δ4]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
数探・准教授 65 講師・助教 60 (平成27年4月採用より)	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{27}{29} = \boxed{93.1} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{27} = \boxed{11.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) -① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	茅野 功	R4.4	必修	医療技術学特殊講義	②	R4.3旧専攻に専任として発令されているため 就任辞退（4）						
				選択	医療安全学特殊講義	②							
				選択	生体情報システム工学特殊講義	②							
				必修	医療技術学特殊研究	②							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	0	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	0	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	田淵 昭彦	R4.4	選択	放射線画像検査技術学特殊講義	①	大学院発令解除のため（4）						
				選択	医用画像検査技術学特殊講義	①							
				必修	医療技術学特殊研究	①							
2	講師	近藤 真史	R3.9	選択	生体情報システム工学特殊講義	①	他大学就任のため（4）						
3	講師	山田 誠一	R4.4	選択	放射線治療技術学特殊講義	①	大学院発令解除のため（4）						
4	准教授	宮崎 仁	R5.4	選択	生体情報システム工学特殊講義	①	他大学就任のため（5）						
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
4	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
 （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)							
5	人	必修	3	科目	必修	1	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	5	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	6	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{5}{29} = 17.24\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	永瀬 澄香	選択	臨床化学分析学特殊講義	①	定年退職（4）				
			必修	医療技術学特殊研究	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|--|

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>・ 茅野功教授については旧専攻科との教員数調整の為、茅野功教授の専任教員就任を辞任したが、兼任教員として本来担当する予定であった科目をすべて担当するため教育内容について問題はない。</p> <p>・ 田淵昭彦教授、山田誠一講師については大学院の発令解除に伴う辞任だが、専任教員で補充を行った。</p> <p>・ 近藤真史講師については、専任教員で補充を行った。</p> <p>・ 永瀬澄香教授については、専任教員の補充自体は行わなかったが科目の特性上現在担当している教員で指導内容が補填できるため、教育内容に問題ない。</p> <p>・ 宮崎仁准教授については、専任教員の補充自体は行わなかったが科目の特性上現在担当している教員で指導内容が補填できるため、教育内容に問題ない。</p> <p>・ 成廣直正准教授、舩田隆則講師、福原真一講、通山薫教授を新たに専任教員発令し、専任教員充足率も100%を超えるよう努力している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医療技術学研究科 医療技術学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成16年5月 FD委員会を設置 平成18年4月 FD・SD委員会に名称変更</p> <p>◆FD・SD委員会規程（抜粋） （趣旨及び設置） 第1条 本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、FD（ファカルティ・ディベロップメント）・SD（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。</p> <p>（目的） 第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。 (1) FD・SDに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。 (2) FD・SDに関する調査・研究をすること。 (3) FD・SDに関する情報を収集し、教員に提供すること。 (4) その他FD・SDに関すること。</p> <p>（委員） 第3条 委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。 (1) 各学部長 (2) 各研究科長 (3) 教務部長 (4) 学生部長 (5) 事務部長 (6) その他学長が指名する者 若干名 2 委員会は、委員長が招集する。 3 委員会に、副委員長を置くことができる。 4 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。 5 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>（委員以外の者の出席） 第4条 委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。 （他の委員会との連携） 第5条 委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるFD・SDの推進活動を補完し合う。 （庶務） 第6条 委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。 （その他） 第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年度 年間7回開催（委員は教員7名、事務職員3名で構成） 令和4年度 年間11回開催（委員は教員7名、事務職員3名で構成）</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD・SD研修会について 各種アンケートについて 等</p>

② 実施状況

a 実施内容

- ・ F D ・ S D 研修会
- ・ 授業研究カンファレンス
- ・ 卒業生（4年次生）へのアンケート
- ・ 授業評価アンケート
- ・ 既卒生・就職先アンケート
- ・ 大学院生アンケート
- ・ 授業に関する意見・要望フォーム
- ・ 学習成果及び学習行動、環境に関する調査 等

b 実施方法

- ・ F D ・ S D 研修会

全学の教職員を対象として、主としてFD活動の先駆的に取り組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、FD・SD委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

- ・ 授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。教員が授業上での工夫等について教員向けに発表する機会を設けている。

- ・ 卒業生（4年次生）へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について21項目のアンケートを9月中旬から3月下旬までの間にWebClassを用いてアンケート調査を実施している。

- ・ 授業評価アンケート

学部生を対象に、令和3年度より春学期末（7月中旬）及び秋学期末（1月中旬）に全科目を対象として、Webclassを用いてアンケート調査を実施している。

- ・ 既卒生・就職先アンケート

前年度卒業生・前年度卒業生の就職先を対象に、卒業後6ヶ月以降にアンケート依頼文を郵送し、回答はGoogleフォームを用いてアンケート調査を実施している。

- ・ 大学院生アンケート

各専攻の院生全員を対象に、年度末（1月中旬）にWebclassを用いてアンケート調査を実施している。

- ・ 授業に関する意見・要望フォーム

学部生・院生全員を対象に、毎月授業に関して教員へ意見・要望がある場合に投書できるフォームをWebclass上に設けている。

- ・ 学習成果及び学習行動、環境に関する調査

学部生を対象に、令和4年度より8月にWebclassを用いてアンケート調査を実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ F D ・ S D 研修会

平成16年度から毎年2、3回開催している。

令和2年4月「本学の遠隔授業について」（参加者 327名）

令和2年5月「遠隔授業について（Zoomの使い方）」（参加者 316名）

令和3年9月「これからの大学教育における『ファシリテーションとは何か』、『ワークショップはどんな学びを生み出すか』」（参加者362名）

令和4年5月「本学の情報環境について－TeamsとWebClassの利用にあたって－」（参加者342名）

令和4年8月「保健看護学科の電子データ配布に対するアンケート結果」、「話の聴き方について、ノートの取り方について」（参加者407名）

- ・ 授業研究カンファレンス

平成29年度から毎年1、2回開催している。

令和2年度 第1回（参加者 220名）

「Teams使用多人数講義の事例紹介」

「Keliを用いた遠隔授業の事例～音声・PDFファイルのみの講義と動画像を用いた講義との比較～」

「医療情報学科の3種の実例から」

令和2年度 第2回（参加者 134名）

「遠隔授業（「文章表現」の実践例と打ち合わせ方法）」

「臨床栄養学科における遠隔授業への取り組みの紹介～チームでTeamsを使って～」

令和3年度 第1回 (参加者 190名)

「『医療と福祉』『医療福祉学概論』の遠隔講義実施における現状と課題」

「自然科学入門 -効果的なりメディア教育を目指して-」

令和3年度 第2回 (参加者 103名)

「持続可能な開発目標 (SDGs) を題材とした内容理解と表現活動」

「実習事後指導における国際学会発表の取り組みについて」

「視能訓練士養成教育におけるオンライン授業の有用性」

令和4年度 第1回 (参加者 329名)

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策のために遠隔授業を活用した体育実技系必修科目の模索—受講学生を対象にしたアンケート調査結果—」

「128名に対するノートPCでの履修登録の試みから見えた課題」

令和4年度 第2回 (参加者311名)

「学生持ち込みノートPCを使用した情報リテラシー教育」

「医療福祉学概論における複数教室同時展開授業についての報告」

「教育用電子カルテ『Medi-Eye』を活用した効果」

・ 大学院FD・SD研修会

令和4年度から年に1回開催している。

令和4年8月「大学院指導における意識改革」(参加者 49名)

・ 卒業生(4年次生)へのアンケート

平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・ 授業評価アンケート

平成18年度から毎年実施しており、科目毎の評価結果について、教員個人にフィードバックしている。報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・ 既卒生・就職先アンケート

平成18年度から3年に1度実施していたが、令和2年度から毎年実施している。報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・ 大学院生アンケート

平成20年度から毎年実施しており、結果については専攻主任に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・ 授業に関する意見・要望フォーム

令和4年度から実施しており、結果については学期ごとに、学科長・専攻主任に周知するとともに、学生の記名が有るものについては、科目を担当教員に学生へのフィードバックの作成を依頼している。

・ 学習成果及び学習行動、環境に関する調査

令和4年度から実施している。報告書をポータルサイト・HPで公開している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和4年度のFD・SD研修会では、近年、ICT教育が重要視されている中で、講義資料の電子化(ペーパーレス化)をテーマとした研修会が開催された。研修会では、本学で利用できる情報環境の使用方法和学内のサポート体制、保健看護学科が学生に対して行った講義資料の電子化に関するアンケート結果、また、電子教材が用いられる授業におけるメモの取り方について説明された。

今後も定期的に研修会を開催し、学生の質や時代の変化等に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。

各種アンケートは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつ実践的な教育改善計画を策定していく。

また、授業評価アンケート等を通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進められておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>医療技術学専攻・博士後期課程は、医療技術学及び関連分野において研鑽を重ね、高度な専門知識を有するとともに、教育・研究活動が自律的に行える医療技術学領域の専門家及び指導者の育成を目的として設置された。2023年度は本専攻は3年目を迎え、3年次生1名（社会人）が在籍している。1年次は3コース（臨床工学研究、臨床検査学研究、診療放射線技術学研究）に共通する基礎研究分野と専門分野の科目履修と研究活動を開始した。研究遂行にあたり必要な研究倫理等の基礎知識は、講義・研修会等を通じて修得した。年末には3コース合同で、修士課程院生とともに専攻別中間研究報告会を開催し、多角的な視点からアドバイスや指導を行うことができた。</p> <p>2年次はさらに研究を推進して、関連学会において成果発表を3回おこなった（地方会2回、全国学会1回）。博士論文作成に向けては、1月に博士論文執筆有資格者認定試験（口頭における研究報告と質疑応答から成る審査会）をおこない、論文執筆が可能と判定された。3年次に入って英文論文を鋭意執筆中であり、期限内の採択を目指している。</p> <p>上記のように、現在在籍する院生（1名）については博士号取得に向けて順調な進捗であり、医療技術学専攻博士後期課程設置の趣旨を実現しつつあると考える。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>平成17年3月（平成15・16年度分）、平成19年7月（平成17・18年度分）、平成21年3月（平成19・20年度分）、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）、令和4年4月（平成28～令和2年度分）公表</p> <p>令和3年度分については、「学報」として令和4年5月に公表。</p> <p>令和4年度分については、「学報」として作成中。令和5年6月頃に公表予定。</p> <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">令和3年9月に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、令和4年3月大学基準に「適合」していると認定された（認定期間は令和11年3月31日まで）。令和10年度に、次回の大学評価（認証評価）を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>《aで「有」の場合》</p> <p>b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input checked="" type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="radio"/> その他 ()]</p> <p>《aで公表「無」の場合》</p> <p>d 公表しない理由 [()]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。